



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく接し たくましく生活する」

# 葦中だより

住所:伊豆の国市葦山葦山393  
電話番号: 055-949-1061  
令和元年9月17日発行  
第26号

## 思いやりの心がちゃんと育まれている！ 伊豆の国市立葦山中学校長 手島雅恵

私は始業式で子供たちに藤田恵美さんの「OMOIYARIのうた」という詩を紹介しました。初めて藤田さんが歌うこの歌を聞いたとき、心がとても温かくなりました。そして、人と人がつながり、みんなが幸せな気持ちで過ごせる営みの中には必ず「思いやり」という行為が存在しているのだと改めて感じさせてもらいました。下枠はその詩の一部です。

倒れそうな人には そっと手を差し伸べて

OMOIYARIは 心を温めるプレゼント

OMOIYARIは 世界を幸せにする魔法



思いやり

世界(せかい)を  
幸せ(しあわせ)にする

魔法(まほう)

いい思詩映  
るていを像  
場話や朗と  
面をり読共  
しにしに、  
てつ

中学生はまだまだ人として至らない点がたくさんあります。今、集団生活の中で、子供たちは人間関係づくりを学んでいる所です。子供たちには、お互いを気遣い、優しい気持ちを持って助け合う、そんな姿をしっかりと身につけ、実行できるように成長してほしいです。

さて、そうした話をした後、しばらくしてから、ある地域のお年寄りが一本の電話を学校にかけてきてくださいました。内容はこうです。

「我が家の前のゴミを片付けていたときにあやまって転んでしまいました。もう年(97歳)なので、一人で起き上がるのに大変で、どうしようかと困っていたとき、近くを通りかかった男子中学生が『大丈夫ですか』と声をかけてくれました。そして、私の両手を引っ張り上げて、助けてくれたんです。私に少し傷ができてしまっていたのを見た中学生の方は、『お家まで送りましょうか』と言ってくれました。私はその中学生に名前を聞かずにいましたので、電話しました。ただただ感謝しております。その生徒さんによろしく伝えてください」と。

「こんなにも素敵な言葉をかけ、自然に行動できる子がいる」そのことが、すごく嬉しく誇らしく感じました。その子が私たちみんなにプレゼントをくれたんですね。大人でもどうでしょうか。できない行為かもしれません。その行為から葦中生はまた一つ、人としての正しく思いやりのある行動を学ぶことができました。

十人十色、人の見方や考え方はそれぞれですが、少なくとも相手目線で行動するようにするすべを知っていれば、人を大切にしていける行動につながるはずですね。

# 「青雲祭体育の部」みんなで一致団結!



各学年が朝練習、体育の時間等を中心に、学年種目練習を行っています。一年生は長縄跳び、二年生は横△力テ(○人)十一人、三年生は縦△力テの学級対抗戦です。運動場のあちらこちらから「せーの、いち、にーい、さん」や「はじめの一步、イチニ、イチニ、イチニ、そーれ」や「み・ぎ・から、イチニ、イチニ・・・」など、各学級それぞれその声合わせでリズムをつくり、心が一つになれるよう頑張っています。担任も闘士をむき出しにして、子供たちに声かけをしています。そうした姿がとても素敵です。当日はどんな結果が・・・。



## 応援・ラジオ体操もいい!

応援パフォーマンスは各色の特色が出ていて面白いです。また、プログラム①ラジオ体操では、一つ一つの動きの中で指先まで伸ばすことや動きを揃えていくことなど、集団ならではの美しい演技を追求しています。ぜひ、楽しみにしてください。

## 先生方の当番日誌より

2学期が始まりました。先生方の日誌には子供たちへの温かい思いや願いが詰まっています。

☆日中何度が激しい風雨となり、生徒たちも驚いていました。幸い生徒の下校時には収まり、事なきを得ました。台風シーズンを迎えます。危機意識をしっかりと持っていきましょう。

☆縦割り種目練習でどの色も3年生がリーダーシップをとっていました。どの生徒にも心に残る青雲祭になってほしいです。

☆放課後練習で「礼」の練習をたくさん行いました。高い精度を求める生徒会。それに応えて何度も練習する中学生。「すごい集団だな」と改めて思いました。

保護者の方からのご意見・感想

( )年( )組( ) (生徒名 )

※体調やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。